

# 業者の商売・技術をアピール

## 75ブリースに1200人が来場

### 滋賀県連 50周年記念商工フェア

滋賀県商工団体連合会(県連)は10月21日、栗東市内の栗東芸術文化会館広場で「民間・滋商連創立50周年記念商工フェア」を開催。1200人の参加者でにぎわいました。秋晴れに恵まれた会場には75のテントが立ち、商売や技術・技能をアピールするブリースや模擬店がぎっしりと並びました。



木組みの技術について土井治さん(右)の話聞く喜多健吉・滋賀県連会長(左)

体験コーナーで子どもも楽しみ  
喜多健吉県連会長が  
開会あいさつ。「市民  
の皆さんに、自分の商  
売や技術をしっかりとア  
ピールしていきましょ  
う」と呼び掛けました。  
広場には、ウクライ

ナにも輸出された和室  
キットの茶室をはじ  
め、リフォームや耐震  
補強パネル、瓦屋根の  
ミニチュア、軸組工法  
のサンプル、ミニチュ  
ア民家、車の内装リペ  
アメニュー、クロス、  
ブロック塀、オリジナ  
ルシルク小物、信楽焼

などさまざまな中小業  
者の技能・技術の展示  
がされ、子どもたちが  
ペンキ塗りなどの体験  
コーナーを楽しみまし  
た。  
瓦屋根を展示してい  
た井上博司さんは「今  
年は地震・台風で大変  
な年で、補修の依頼が



ペンキ塗りを体験する親子連れ



3本2000円の超特価で販売された絹のスカーフ

殺到した。簡易補修に  
回るだけでも1カ月か  
かった。大阪などから  
も依頼電話があるが、  
県内だけで手いっぱい

い。瓦工事全体をこな  
せる職人が減ってい  
る」と話します。  
カーテン工房ヤマ  
チホームの山下豊一さ  
んは「流行のブレン  
シエードが製作できる  
ように600万円の設  
備投資をしたばかり。  
景気が悪いので、1階  
はオーダカーテンにし  
ても2階は安い既製品  
にと言つ人も多いので  
新製品で受注を広げて  
いきたい」と意気込み  
を語ります。

太陽光と蓄電で  
停電の備えにも  
太陽光の発電キット

を展示していた滋賀大  
津建設協同組合の山田  
啓造理事長は、仲間と  
ともに「びわ湖エネル  
ギー株式会社」をつく  
り、市民発電の普及に  
も力を入れています。

「北海道でブラック  
アウトした時、太陽光  
と蓄電設備を備えてい  
た人は停電したとき  
え気分がなかったそう  
です。蓄電システムの  
価格は下がってきてい  
るので普及の絶好のチ  
ャンス。小規模分散が  
大事。家庭の必要量は  
100%賄える」と力  
強く宣伝します。

「捨てない。壊さな  
い。取り替えない」のバ  
ネルを掲げ、エコな自  
動車関連修理をアピ  
ルしていた大西聡さん  
は創業5年。「エコな  
だけでなく、航空機で  
も採用されている安全  
性の高いリペアである  
ことを知ってもらい、  
顧客を開拓していきたい  
」と抱負を語ります。  
最後に抽選会が行わ  
れ、中西武男副実行委  
員長が「消費税増税を  
中止させ民間を大きく  
しよう」と閉会のあい  
さつ。11月2日に予定  
する決起集会に向け、  
県内各民間が拡大でも  
奮闘する決意を固め合  
い閉幕しました。